Pioneer sound.vision.soul

コンパクトディスクプレーヤー

CDJ-400

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に、**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

〔異常時の処置〕

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

〔設置〕

- 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  - あおむけや横倒し、逆さまにする。
  - 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
  - じゅうたんやふとんの上に置く。
  - テーブルクロスなどをかける。

〔使用環境〕

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流100ボルト 50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

〔使用方法〕

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
  火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠警告

● 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。

● 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

〔設置〕

● 電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ(遮断装置)に容易に手が届くように設置してください。

● 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

● 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

● 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

● 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

〔使用方法〕

● ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

● レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

● お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

● 機器本体の電源スイッチを切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

〔保守・点検〕

● 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

オペレーションガイド

本機はディスコ・クラブでの使用で求められている機能と操作性をCDで再現し、DJ 用アナログプレーヤー以上の操作性／音質／機能を備えたDJ 向けCD プレーヤーです。

SCRATCH JOG EFFECT

新しいスクラッチ音の演奏が楽しめるスクラッチジョグエフェクト搭載
3つのボタンにそれぞれ異なった新しいスクラッチ音[BUBBLE][TRANS][WAH]を搭載。通常のスクラッチ音とは違う効果が得られ、DJプレイの幅が広がります。

DIGITAL JOG BREAK

オリジナルな音の演出ができるデジタルジョグブレイク搭載
3つのボタンにそれぞれ異なったリミックスアシスト機能[JET]、[ROLL]、[WAH]を搭載。好きな機能を選択し、曲に合わせてジョグダイヤルをコントロールすれば、新たなリミックスの世界が広がります。

JOG DIAL

アナログターンテーブルを超える操作感覚を実現する直径115 mm の大型ダイヤル

■ PITCH BEND
ジョグダイヤルを回転する方向とスピードに比例して再生テンポが変化します。

■ SCRATCH PLAY
VINYLモード時にジョグダイヤルの天面を押すと再生が停止し、ジョグダイヤルを回転する方向とスピードに応じて再生します。

■ FRAME SEARCH
ポーズ中にジョグダイヤルを回転すると、フレーム(1/75 秒)単位でポーズ位置を移動できます。

■ SUPER FAST SEARCH
マニュアルサーチボタンまたはトラックサーチボタンを押しながらジョグダイヤルを回転すると、通常のサーチやトラックサーチより速いサーチができます。

TEMPO CONTROL

曲のスピードを自由に調節できる長さ100 mm の高性能スライダー
0.02 %単位（±6 %レンジ）のデジタル表示を利用して、テンポ合わせがより正確に、より簡単にできます。

■ TEMPO CONTROL RANGE
最大可変範囲が±6 %、±10 %、±16 %、WIDEの4 段階に設定でき、より使いやすくなりました。

■ MASTER TEMPO
曲のスピードを変えても音程を保つことができます。

REVERSE PLAY

リバースボタン（DIRECTION REV）を押してボタンを点灯すると逆方向に再生します。

CUE

■ BACK CUE
キューポイントをメモリーして音出ししたあとキューボタンを押せば、キューポイントに戻り、再度そこからのスタートが可能です。

■ AUTO CUE
曲頭の無音部分を飛ばして、音の出る直前の位置で自動的にスタンバイし、プレイボタンで曲は瞬時にスタートします。

■ CUE POINT SAMPLER
メモリーしたキューポイントから、ワンタッチ演奏が可能です。頭出ししたいポイントの確認やサンプラーとしての使用に便利です。

CUE/LOOP MEMORY

本機はキューポイントやループポイントを内蔵メモリーに記憶でき、呼び出すことができます。

REAL TIME SEAMLESS LOOP

ループの設定・解除が簡単にできます。曲をプレイしながら、ここだと思ったときにすぐループを設定できます。また、曲の終了間際にループを組んで曲を終わらせないこともできます。さらに、ループアウトポイントの修正がワンタッチで行えるADJUSTモードを追加し、ループ機能が使いやすくなりました。

RELOOP

一度設定したループに何回でも戻ることが可能です。
ループプレイの解除後にリ・ループボタンを押すと、設定してあるループに戻ってループプレイを行います。リズムに合わせてオン・オフを使いこなせば、さまざまな可能性が広がります。

BEAT LOOP/LOOP DIVIDE

曲のBPMを元に、自動でループアウトポイントを設定し、ループプレイを行います。さらに、ボタンを押すたびにそのループを分割し、新しいリズムを再構築します。

PLAYING ADDRESS

アナログレコードならば針の位置でわかる曲の進行状態を、瞬間的に把握できるようにバーグラフで視覚的に表示します。その長さで現在位置がすぐわかり、さらに点滅することにより曲が終わる前に警告します。

FADER START

パイオニアのDJミキサー（別売）と接続して、ミキサーのフェーダー操作によりQUICK STARTやBACK CUEが行えます。

RELAY PLAY

2台のCDJ-400を接続して自動交互再生が可能です。
一方の曲が終わると同時にもう一方のスタンバイ状態が解除され、瞬時に自動的に曲がスタートします。

OIL DAMPER FLOAT

振動・衝撃に強いオイルダンパーフロート構造採用。
再生中の操作による衝撃や床からの振動などが加わっても音飛びの発生しにくいオイルダンパーフロート構造を採用しました。

MULTI READ

CD-R 、CD-RW ディスクの再生も可能（ただし、ディスク特性、レコーダー側の記録特性、ディスクの汚れ、キズ等により正しく再生できない場合もあります）。

MP3 DJ PLAY

CD-ROMまたはUSBメモリーに収録されたMP3ファイルをDJ機能を使って再生できます。

PC CONNECTION

CDJ-400のほぼすべてのボタンやスライダーの情報を外部に出力できます。
この信号で当社製DJソフトウェア「DJS」をはじめとするPCアプリケーションソフトをコントロールできます。
また、PC内で再生している曲を本機よりオーディオ出力させることができます。

目　次

ご使用の前に

操　作

その他

仕　様

1. 一般

形式 .... コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
使用ディスク .... コンパクトディスク
電源 .... AC 100V、50 Hz/60 Hz
消費電力 11W
動作温度 .... +5 ℃～+35 ℃
動作湿度 .... 5 %～85 %（結露のないこと）
質量 .... 2.7 kg
最大外形寸法 ....
217.9 mm（幅）×107.5 mm（高さ）×296.3 mm（奥行）

2. オーディオ部

周波数特性 .... 4 Hz ～ 20 kHz
SN比 .... 115 dB 以上（JEITA）
歪率 .... 0.006 %（JEITA）

3. 付属品

- 電源コード 1
- オーディオケーブル 1
- コントロールコード 1
- 強制イジェクトピン（本体底面に装着） 1
- 保証書 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
- ドライバー（本体底面に装着） 1
- ジョグシート（交換用） 3
- 取扱説明書 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

本機で再生できるディスクについて

本機で再生できるディスクの種類

- 以下のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク			
CD	CD-TEXT(注1)	CD-R(注2)	CD-RW(注2)
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

注1) TEXT表示について
表示できる文字数は、48文字までです。10文字を超えるときはスクロール表示になります。半角英数字および一部の記号のみ表示可能です(☞P.13)。

注2) CD-R/CD-RWディスクの再生について
本機は音楽CDフォーマットまたはMP3で記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。
※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります(原因:ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- 本機はCD-RおよびCD-RWディスクの未ファイナライズディスク(パーシャリーディスク)の再生はできません。
- 詳しいCD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

■ コピーコントロールCDについて
当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。
CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

■ CD-R/-RWディスクについて
CD-R/-RWディスクは、長時間のポーズ(またはキュースタンバイ)状態を続けると、ディスクの性質上その場所が再生しづらくなる場合があります。また、ループ機能を使用して特定の場所を極端に繰り返し再生した場合も同様の症状になる場合があります。
大切なディスクを使用される場合は、バックアップディスクの作成をお勧めします。

■ 「DualDisc」の再生について
当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。
CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

MP3再生について

MP3ファイルの種類には、固定ビットレート(CBR : Constant Bit Rate)と可変ビットレート(VBR : Variable Bit Rate)があります。本機ではCBRに加えてVBRも再生やDJプレイが可能ですが、VBRではCBRに比べてサーチやスーパー・ファースト・サーチの速度が遅くなります。操作性を優先する場合はCBRで記録することを推奨します。

MP3再生を行うためには、下記フォーマットに従っていることが必要です。

MP3 フォーマット	MPEG-1	Audio Layer-3 のサンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、 ビットレート 32 Kbps ～ 320 Kbps に対応しています。
	MPEG-2	Audio Layer-3 のサンプリング周波数 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、 ビットレート 16 Kbps(ステレオ)～ 160 Kbps に対応しています。
	ID3 タグ	ID3 Ver1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 に対応しています。 タイトル、アルバム名、アーティストを表示します。 半角英数字および一部の記号のみ表示可能です。
	ファイル拡張子	.mp3、.MP3、.mP3、.Mp3

■ USBメモリーの再生について

お手持ちのUSBメモリーを本機に接続することで、USBメモリーに記録されているMP3ファイルを本機で再生することができます。

- 本機ではすべてのUSBメモリーの再生、および電源の供給を保証できない場合があります。また本機と接続したことで、USBメモリーのファイルが万が一損失した場合、当社は一切の責任を負うことができませんので、あらかじめご了承ください。
- 容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
- USBハブをお使いになると、正しく動作しないことがあります。

■ USBメモリーを取り外すときは

ソースセレクトでUSBメモリーの選択を解除し 、USBメモリー表示が消灯したことを確認してから取り外してください。

USBメモリーフォーマット	フォルダ階層	最大８階層 ８階層を超えるフォルダのファイルは再生できません。
	最大フォルダ数	10 000
	最大ファイル数	20 000（フォルダ内に最大 10 000）
	記録方式	外付ハードディスクや携帯フラッシュメモリー、デジタルオーディオ再生機（FAT16、FAT32のフォーマットに対応）などのUSBマスストレージクラスに属する機器

※ ファイルソート機能はありません。メモリーに記録された順で再生します。
※ フォルダ数が多くなるほど、起動時間は遅くなります。

■ CD-ROMの再生について

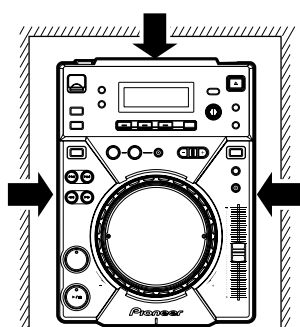
CD-ROMに記録されているMP3ファイルを本機で再生することができます。

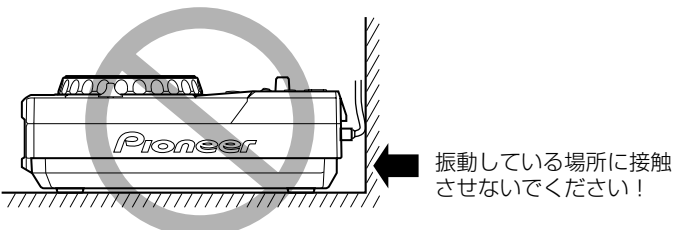
Disc フォーマット	フォルダ階層	最大８階層 ８階層を超えるフォルダのファイルは再生できません。
	最大フォルダ数	2 000
	最大ファイル数	3 000
	マルチセッション	マルチセッションには対応していません。 マルチセッションディスクの時は、最初のセッションのみ再生します。
	CD-R 記録方式	ISO9660 CD-ROM ファイルシステムに従って記録してください。 ディスクアットワンスまたはトラックアットワンスのみ対応しています。 パケットライトは対応していません。

※ ファイルソート機能はありません。ディスクに記録された順で再生します。
※ フォルダ数が多くなるほど、起動時間は遅くなります。

設置上のご注意

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライト等の近くで長時間使用すると、ディスクや本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。
- スピーカーの近くなど、大音量の環境で使用すると音飛びを生じることがあります。このような場合にはスピーカーから離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- 本機は水平で堅牢な床のある場所に設置してください。
  また、下記のようなことに注意して設置してください。

プレイする状態ではパネルやオーディオコード、電源コードが振動している場所に触れないように設置してください。振動が製品の脚部以外から伝わると、音飛びの原因となる場合があります。キャリングケース等に収納して使用する場合に注意してください。

- 放熱効果を得るため、必ず空間をあけてください。

振動している場所に接触させないでください！

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ (結露) 、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

CDレンズクリーナーについて

ピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、ご使用中にほこりなどにより不具合が発生したときは「保証とアフターサービスについて」(☞P.24)をお読みのうえ、修理をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもありますのでご注意ください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ディスクの取り扱いについて

右記マークの付いたコンパクトディスクをお使いください。それ以外のディスクを使用すると故障の原因となることがあります。

- **SACDハイブリッドディスクは再生できません。**

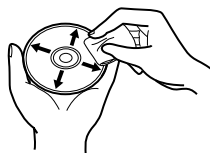
■ 信号面をさわらないようにしてください。
■ 信号面傷や汚れを付けないでください。

■ ディスクに紙やラベル用シールなどを貼り付けないでください。ディスクが反って不具合を発生する恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

■ 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。

■ 特殊な形のディスクについて
- 本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

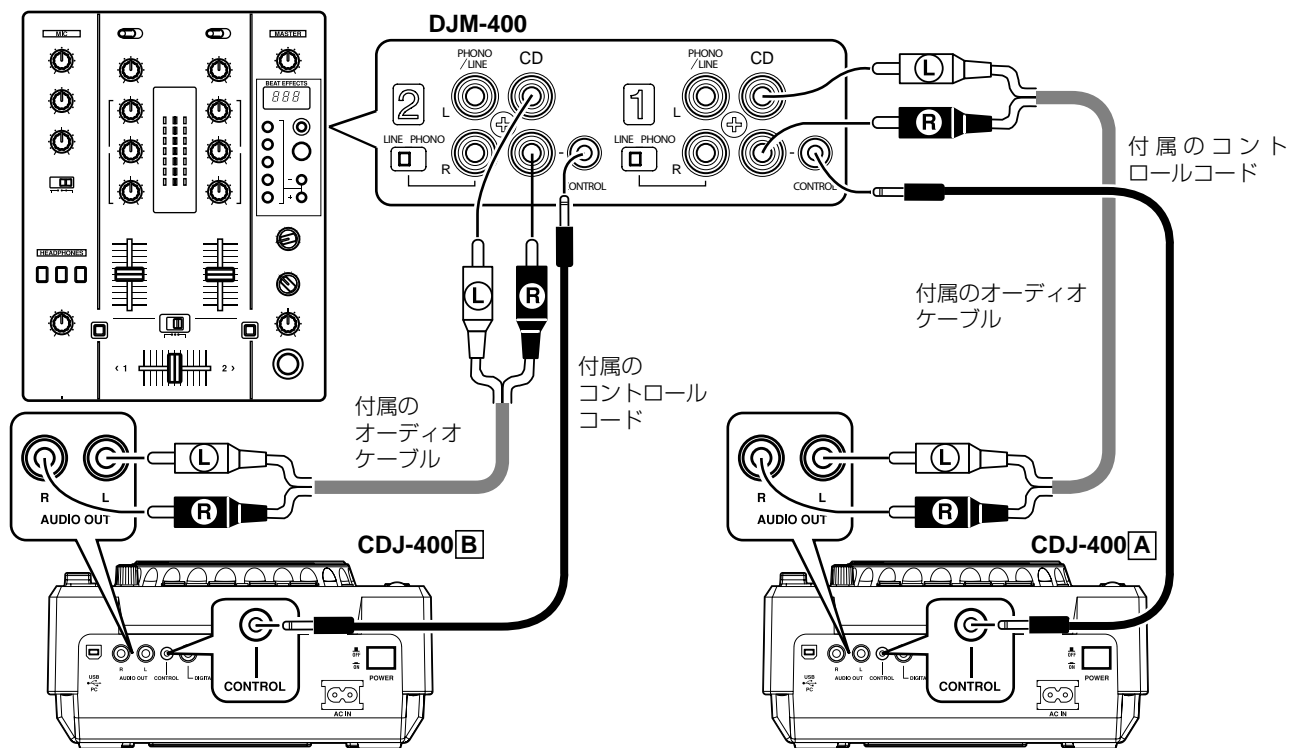
■ ディスクの保管
- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますのでご注意ください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ ディスクのお手入れ
- 柔らかい布でディスクの内側から外側方向へ軽く拭いてください。
- ディスクの清掃には、市販のディスククリーニングセットの使用をお薦めします。
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
  また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面を傷めることがあります。
- 汚れがひどい場合には柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。

接続のしかた

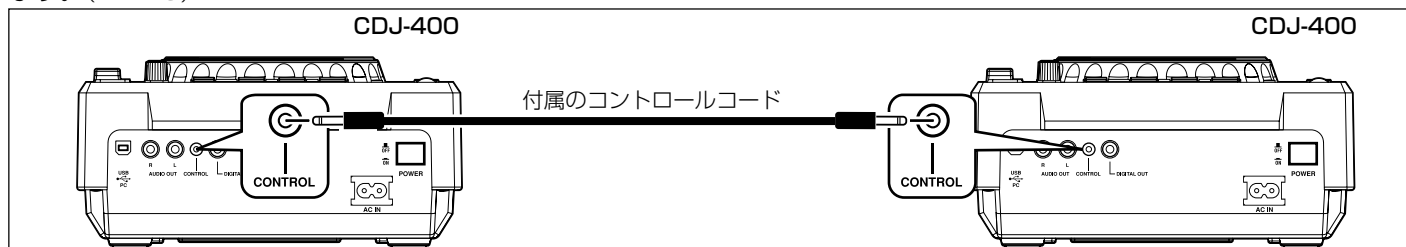
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

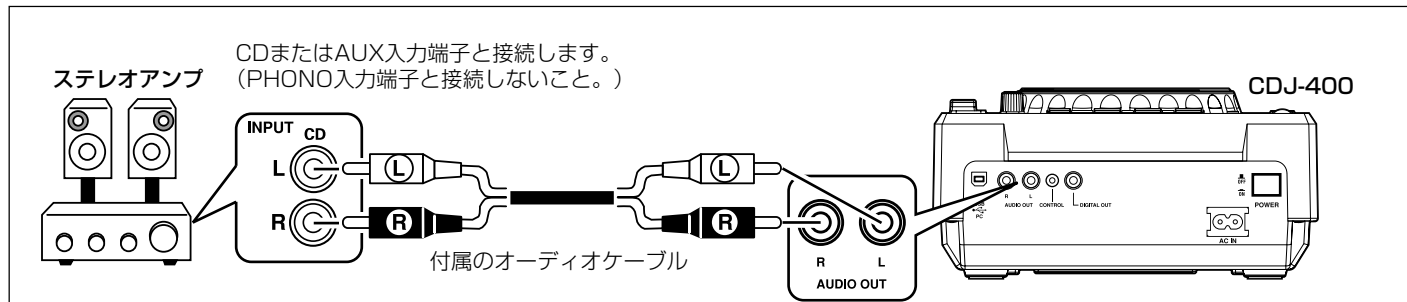
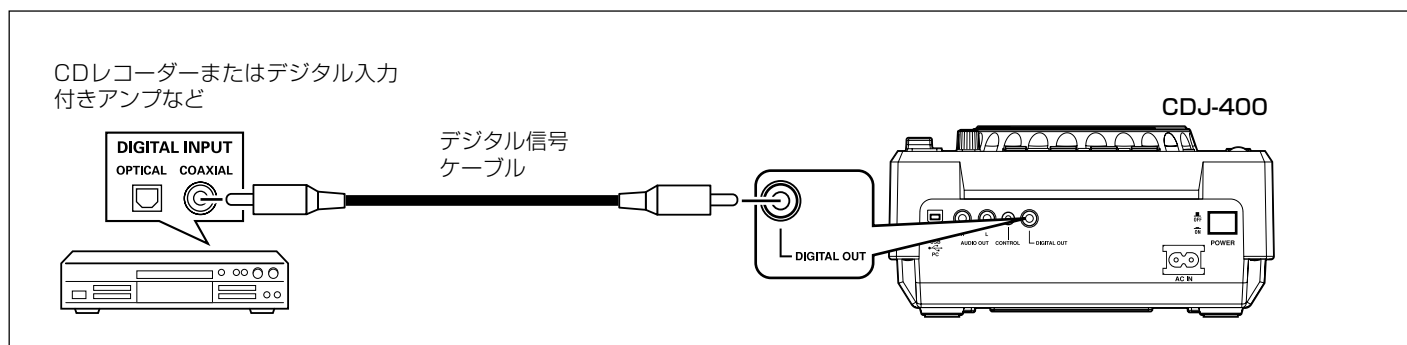
1. パイオニアのDJミキサーとの接続（音声出力およびコントロール端子の接続）

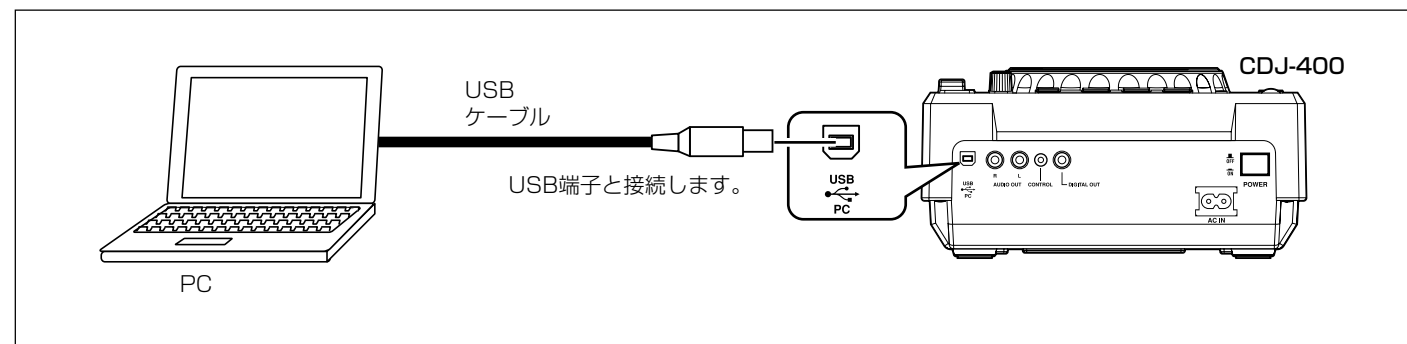
付属のオーディオケーブルを使って、白のプラグはL（左）端子へ、赤のプラグはR（右）端子へつないでください。
また、付属のコントロールコードを接続すると、ミキサーから本機をコントロールしてフェーダースタートプレイやバックキューができます。

DJM-400と接続する場合

● DJM-600、DJM-300、DJM-500と接続する場合は、上記同様に接続してください。
● DJM-909、DJM-707と接続する場合は、CH-1 CDとA PLAYER、CH-2 CDとB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続してください。
● DJM-3000と接続する場合はA PLAYERをCH-1のLINE1、B PLAYERをCH-2のLINE3に接続してください。
● DJM-1000と接続する場合は、CD/LINEの1つとA PLAYER、別のCD/LINEの1つとB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続してください。オーディオ信号をデジタル接続するときは、本機のDIGITAL OUTをDJM-1000のチャンネル4〜6のDIGITAL入力端子と別売りの同軸デジタル信号ケーブルで接続してください。
● DJM-800と接続する場合は、CD/LINEの1つとA PLAYER、別のCD/LINEの1つとB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続してください。オーディオ信号をデジタル接続するときは、本機のDIGITAL OUTをDJM-800のDIGITAL入力端子と別売りの同軸デジタル信号ケーブルで接続してください。
● DJM-700と接続する場合は、CD1のCD/LINEの1つとA PLAYER、CD2のCDとB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続してください。
● その他のオーディオミキサーと接続する場合は、本機のAUDIO OUT端子とミキサーのライン入力端子またはAUX端子を接続します。（**★ PHONO端子には接続しないでください。音が歪んだり、正常な演奏ができません。**）

2. リレープレイをする場合のコントロールコードの接続

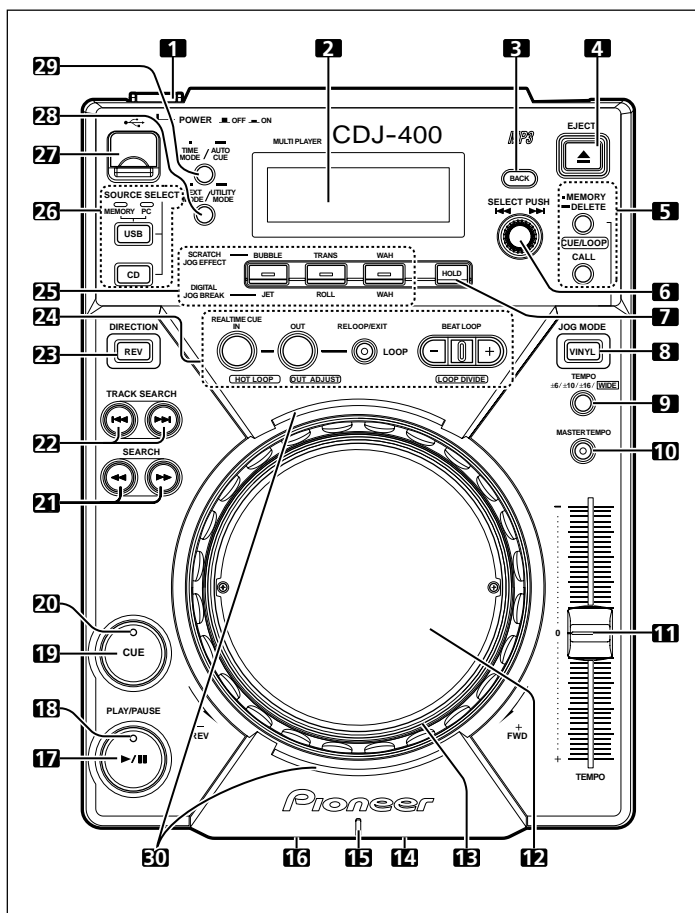
付属のコントロールコードで2台のDJ用プレーヤーのコントロール端子どうしを接続すると、交互演奏を自動的に行うことができます。（☞P.20）

3. その他の機器との接続

Ⓐ ステレオアンプとの接続（DJミキサーを使わない場合）

Ⓑ デジタル入力端子付き機器との接続

- デジタル出力端子からはサブコードを含まないオーディオデータのみ出力されます（CDグラフィックス非対応）。
- CDレコーダーなど接続される機器によっては録音機能などが制限される場合があります。詳しくは接続される機器の説明書をお読みください。

Ⓒ PCとの接続

- 接続するPCの使用OSはWindows Vista, Windows XP, Windows 2000, MacOS 10.3以降のものを使用してください。
- Windows 2000で使用する場合は、接続前に専用MIDIドライバーをインストールする必要があります。
- ＰＣからのオーディオ出力用に専用ASIOドライバーも用意されています。
- 専用ドライバーのダウンロードおよび当社製ＤＪソフトウェア「DJS」については、下記ホームページを参照してください。
http://www.prodjnet.com/support/

4. 電源コードの接続

すべての接続が終了したら、プレーヤー部後面にあるACインレットに付属の電源コードの一端を差し込み、電源プラグを壁の電源コンセントまたはアンプの予備電源コンセントへ接続します。

各部の名称とはたらき

1 電源スイッチ(POWER ■OFF/▁ON)
本機の後面にあります。本機の電源をオン／オフします。

2 表示部
13ページ参照

3 フォルダバックボタン(BACK)
階層構造のCD-ROMおよびUSBメモリーで上の階層へ戻ります。(☞P.16)

4 イジェクトボタン(EJECT)
ディスクを取り出します。(☞P.14)

5 キュー／ループボタン

■ **キュー／ループ メモリー／デリートボタン(CUE/LOOP MEMORY)**
キューポイントやループポイントを記憶します。(☞P.20)

■ **キュー／ループコールボタン(CUE/LOOP CALL)**
記憶されたキューポイントやループポイントを呼び出します。(☞P.20)

6 ロータリーツマミ(SELECT PUSH ⏮, ⏭)
フォワード、リバース方向へ選曲(トラック送り)/フォルダ送りします。(☞P.16)
押すと、フォルダ／トラックを決定します。

7 ホールドボタン(HOLD)
デジタルジョグブレイクとスクラッチジョグエフェクトのエフェクト状態を保持します。(☞P.17)

8 ジョグモード切換ボタン(JOG MODE VINYL)
VINYLモード:ボタンが点灯します。再生中にジョグダイヤルの天面を押すと再生を停止し、そのまま回転すると回転に応じた音声が出ます。
CDJモード:ジョグダイヤルの天面を押しても、上記の動作はしません。
● 電源をオフしてもジョグモードは記憶されます。

9 テンポレンジボタン(TEMPO ±6/±10/±16/WIDE)
テンポ可変範囲を切り換えます。(☞P.17)
● 電源をオフしてもテンポレンジは記憶されます。

10 マスターテンポボタン／インジケーター (MASTER TEMPO)
マスターテンポ機能をオン／オフします(オン時に点灯)。(☞P.17)

11 テンポ調整ツマミ(TEMPO)
曲のテンポ(再生スピード)を調整します。(☞P.17)

12 ジョグダイヤル(−REV/+FWD)(☞P.16)
お好みの写真などを入れることもできます。(☞P.13)

13 ジョグインジケーター
● CD選択状態でディスクが挿入されていて通常状態のときまたは、USBメモリーが選択され通常状態のとき、点灯します。
● ジョグインジケーター点灯パターンを可変することができます。

■ジョグインジケーター点灯パターンの可変
1. TEXT MODE/UTILITY MODEボタンを1秒以上押し続けるとユーティリティ設定モードとなります。
ロータリーツマミを回転させ表示部を「JOG ILLUMI 」とし押して決定します。
表示部に「PATTERN 1」と表示されます。
2. ロータリーツマミを回転させ表示パターンを変更します。
PATTERN 1 ～ PATTERN 6 から選べます。
3.ロータリーツマミを押して決定します。
15秒間放置するとユーティリティ設定モードは解除されます。またバックボタンを押すと戻ります。

14 ディスク挿入口
前面部にあります。(☞P.14)

15 ディスクインジケーター
● ディスクが挿入されていないとき、消灯します。
● ディスクのローディングを完了すると、点灯します。

16 強制イジェクトホール
前面部にあります。(☞P.14)

17 プレイ／ポーズボタン(PLAY/PAUSE ▶/II)
(☞P.15)

18 プレイ／ポーズインジケーター(PLAY/PAUSE ▶/II)
プレイ時に点灯し、ポーズ時に点滅します。

19 キューボタン(CUE)
キューポイントの設定・確認を行います。(☞P.18)

20 キューインジケーター(CUE)
キューポイントが設定されると点灯し、ポーズ時に点滅します。

21 サーチボタン(SEARCH ◀◀, ▶▶)
再生中に音を出しながらフォワード、リバース方向への早送り/早戻しをします。(☞P.16)

22 トラックサーチボタン(TRACK SEARCH ⏮, ⏭)
フォワード、リバース方向へ選曲(トラック送り)します。(☞P.16)

23 リバースボタン(DIRECTION REV) (☞P.19)
押してボタンを点灯するとリバース再生します。

24 ループボタン

■ **ループイン/リアルタイムキュー/ホットループボタン/インジケーター(IN/REALTIME CUE/HOT LOOP)**

ループインポイントを入力します(IN ☞P.19)。
再生中にそのポイントをキューポイントにします(REALTIME CUE ☞P.18)。
ループ再生中に押すと、ループインポイントに戻って再生します(HOT LOOP ☞P.19)。

■ **ループアウト/アウトアジャストボタン/インジケーター(OUT/OUT ADJUST)**

ループアウトポイントを入力します(OUT ☞P.19)。
ループ再生中に押すと、ループアウトポイントを修正できます(OUT ADJUST ☞P.19)。

■ **リ・ループ/イグジットボタン(RELOOP/EXIT)**

ループ再生終了後、保持されているループイン・アウトデータに従って、再度ループ再生を行います(RELOOP☞P.19)。
ループ再生中に押すと、ループ再生を終了して通常の再生に戻ります(EXIT☞P.19)。

■ **ビートループ/ループディバイドボタン/インジケーター(BEAT LOOP/LOOP DIVIDE)**

プレイまたはポーズ中に押すと、曲のBPM (Beat Per Minutes)からループエンドを決定し、ループ再生を開始します(BEAT LOOP☞P.19)。
ループ再生中に－ボタンを押すと、ループが分割され、＋ボタンを押すと元のループの長さに戻っていきます。(LOOP DIVIDE☞P.19)
ループ再生時に、ループディバイドボタンが押せる場合にはインジケーターが点灯します。

25 スクラッチジョグエフェクト/デジタルジョグブレイクボタン

JOGモードによってボタンの機能が切り換わります。

■ **スクラッチジョグエフェクトボタン(SCRATCH JOG EFFECT)**

VINYLモード時にBUBBLE、TRANS、WAHの各効果をそれぞれオン/オフします(☞P.17)。

■ **デジタルジョグブレイクボタン(DIGITAL JOG BREAK)**

CDJモード時にJET、ROLL、WAHの各効果をそれぞれオン/オフします(☞P.17)。

26 ソースセレクト(SOURCE SELECT)

■ **USBセレクトボタン(USB)**

接続したUSBメモリー内のファイルを再生するときに選びます。押すたびにUSBメモリーとPCとを切り換えます。

■ **CDセレクトボタン(CD)**

CDまたはCD-ROM内のファイルを再生するときに選びます。

27 USB入力端子

USBメモリーを接続します。

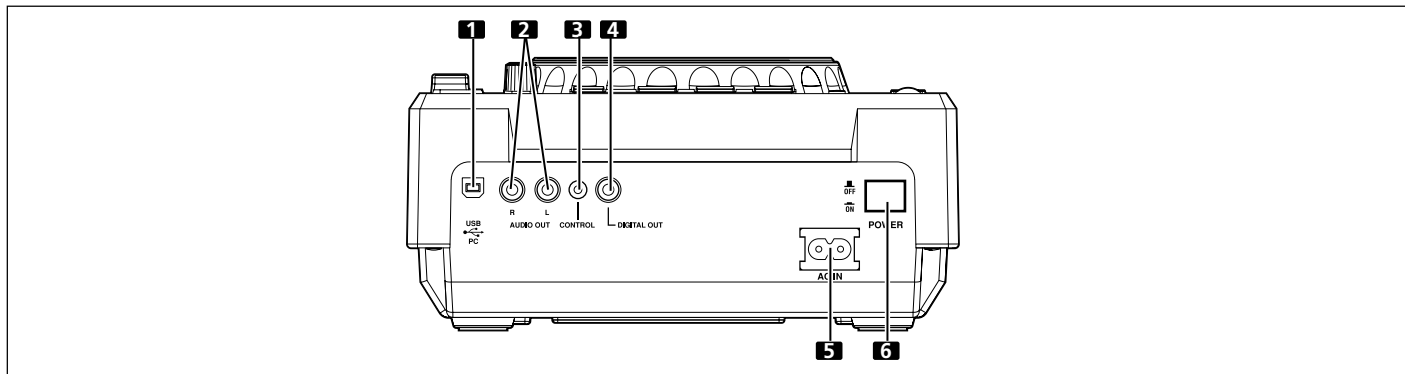
28 テキストモード/ユーティリティモードボタン(TEXT MODE/UTILITY MODE)

TEXT表示を切り換えます。(☞P.13)
押し続けるとユーティリティ設定モードになります。

29 タイムモード/オートキューボタン(TIME MODE/AUTO CUE)

曲残量時間と経過時間の表示を切り換えます。(☞P.13)
押し続けるとオートキュー機能をオン/オフします。(☞P.15)

30 ジョグタッチインジケーター

VINYLモードのときに、ジョグダイヤルの天面を押すと点灯します。

後面パネル

1 USB入力端子

パソコンを接続します。

2 オーディオ出力端子(AUDIO OUT L、R)

RCAタイプのアナログオーディオ出力端子です。

3 コントロール端子(CONTROL)

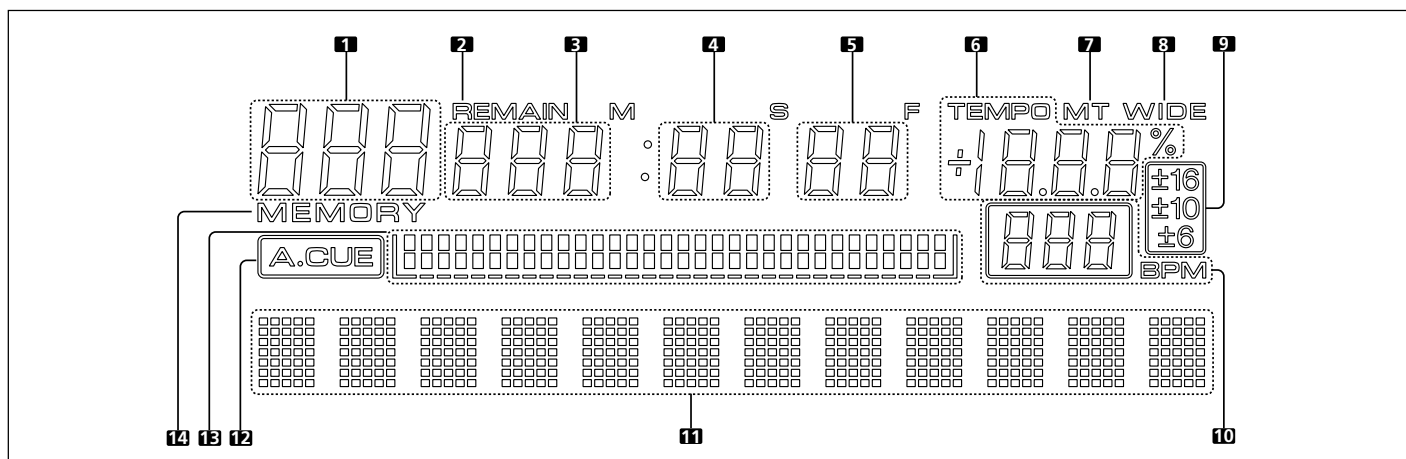
付属のコントロールコードを使って、パイオニアのDJミキサーと接続すると、DJミキサーから本機をコントロールしてフェーダースタートプレイやバックキューができます。
また、他のDJプレーヤーのコントロール端子と接続して、自動交互再生(リレープレイ)を行うことができます。(☞P.20)

4 デジタル出力端子(DIGITAL OUT)

デジタル入力対応のDJミキサーやAVアンプ、CDレコーダーなどを接続する、RCAタイプの同軸デジタル出力端子です。
DJ機能を含めたすべての機能に対応した出力が得られますが、サブコードを含まないオーディオデータのみが出力されます(CDグラフィックス非対応)。

5 AC インレット

付属の電源コードを使って壁の電源コンセントと接続します。

6 電源スイッチ(POWER OFF、ON)

表示部

1 セグメント表示×3
フォルダナンバーまたはトラックナンバーまたは文字表示を行います。

2 REMAIN
曲残量時間表示時に点灯します。

3 セグメント表示×3
時間表示(分)または文字表示を行います。

4 セグメント表示×2
時間表示(秒)または文字表示を行います。

5 セグメント表示×2
時間表示(フレーム)または文字表示を行います。

6 TEMPO
テンポの変化率を表示します。

7 MT
マスターテンポ機能がオンのとき点灯します。

8 WIDE
テンポレンジボタンをWIDEにしているときに点灯します。

9 ±6、±10、±16
テンポレンジを点灯表示します。

10 BPM
表示しているトラックのBPMを表示します。

11 ドットマトリックス表示(7×5)×12
TEXTが表示されます。

12 A.CUE
オートキュー機能がオンの時に点灯します。

13 プレーイングアドレス表示
演奏位置を1曲フルスケールで表示します。
経過時間表示の時は左側から点灯し、残量時間表示の時は左側から消灯します。
曲残量が30秒以下になるとゆっくり点滅し、15秒以下になると早く点滅します。

14 MEMORY
キュー/ループポイントが記憶されているときに点灯します。

時間表示について

- TIME MODEボタンを押すごとに経過時間(TIME)と1曲残量時間(REMAIN)を切り換えます。
- 電源をオフにしても表示モードは保持されます。

TEXTの表示について

TEXT MODEボタンでCD-TEXTの曲名/アルバム名/アーティスト名表示を切り換えます。
MP3再生時は、ID3タグの曲名またはID3タグが記録されていない場合はファイル名/ID3タグのアルバム名/ID3タグのアーティスト名を表示します。

- それぞれ48文字まで表示可能で、10文字を超える場合はスクロール表示になります。
- 表示できる文字は、アルファベット、数字および一部の記号です。
- 対応するテキストが無い場合は「NO TEXT」を表示します。

TEXT表示の曲名が選択されたときは、「♪」アイコンに続き曲名(MP3ではID3タグのタイトル名またはファイル名)が表示されます。
また、MP3の場合は曲名に続きビットレートを表示します。

♪ CDJ-400 【128 Kbps】

TEXT表示のアルバム名が選択されたときは、「 」アイコンに続きアルバム名が表示されます。

Pioneer

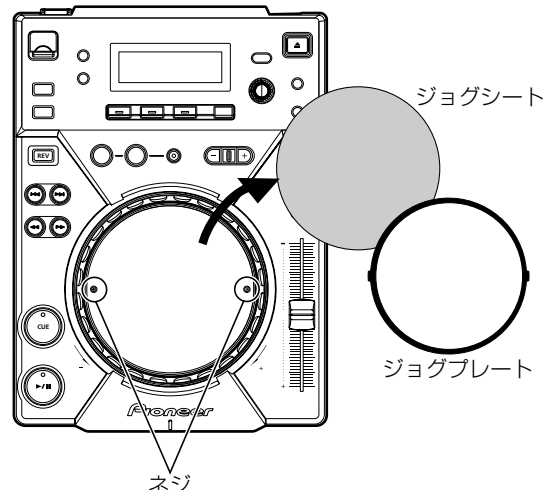
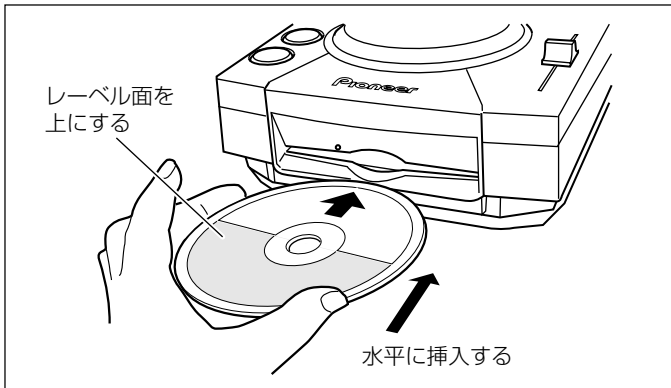
TEXT表示のアーティスト名が選択されたときは、「 」アイコンに続きアーティスト名が表示されます。

Pioneer PRO DJ

MP3でフォルダサーチを行うとサーチ中にフォルダー名を表示します。

Pioneer DJ

ジョグシート交換のしかた

付属のドライバーでネジを外してジョグプレートを取り外し、中のジョグシートを交換します。 付属のジョグシートやお好みの写真などを入れることができます。

ディスクの入れ方・出し方

1. 後面の電源スイッチをオンにする。

電源スイッチがオフの状態でディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因になります。

2. ディスクを入れる。

- ディスクはレーベル面を上にして、前面のディスク挿入口に水平に挿入してください。
- 装着できるディスクは1枚のみです。一度にディスクを2枚以上挿入したり、プレイ時にディスクを無理に挿入しないでください。
- ディスクを挿入するとき、ディスクがたわむような力を加えたり、無理に押し込んだりしないでください。また、本機がディスクを引き込もうとしているときや排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因となります。

3. EJECTボタン を押してディスクを取り出す。

- ボタンを押すとディスクの回転が止まり、ディスク挿入口からディスクが出てきます。
- EJECTボタンが機能しなくなり、ディスクを取り出せなくなったときに、プレーヤー部前面の強制イジェクトホールに付属のピンを押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。

■ イジェクトを中止する

誤ってEJECTボタンを押してしまった場合、すぐに(「EJECT」が表示される前までに)PLAY/PAUSEボタンを押すと、EJECTボタンを押す直前の状態に復帰します(この間、音声出力は停止します)。

ご注意：

「EJECT」表示中にはディスクを押し戻さないでください。
「EJECT」表示中にイジェクト中のディスクを押し戻すと、動作が停止することがあります。このときはEJECTボタンを押し、「EJECT」表示が消えてからディスクを挿入してください。

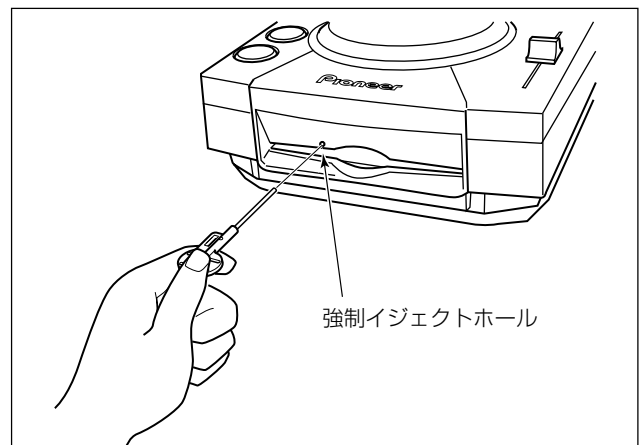
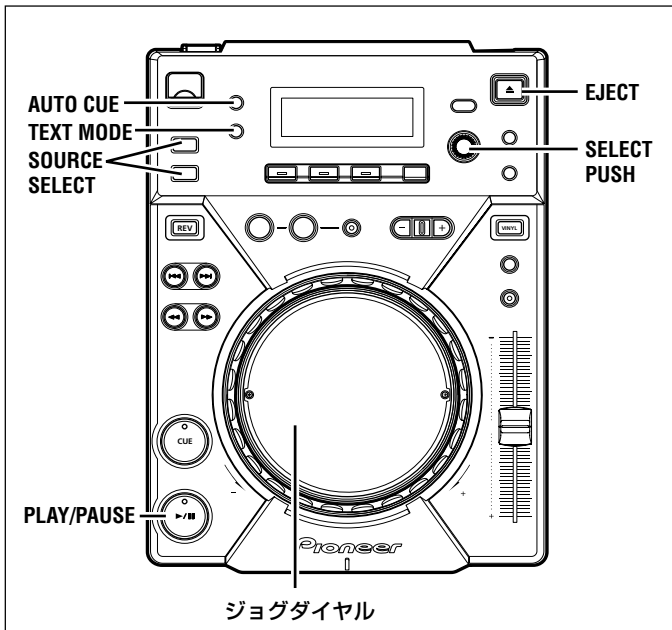
ディスクの強制イジェクトについて

イジェクトボタンが機能しなくなり、ディスクを取り出せなくなったときに、プレーヤー部前面の強制イジェクトホールに付属品のピンを押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。
強制イジェクトを行うときは、必ず下記の事項を厳守してください。

① 必ずCDプレーヤーの電源を切り、1分以上待ちます。

電源を切ってすぐに強制イジェクトを行った場合、次のような危険を伴いますので絶対に行わないでください。

- ディスクが回転したままCDプレーヤーの外部に出てくるため、指などに当たり、ケガをする危険があります。
- ディスクのクランプが不安定な状態で回転するため、ディスクに傷が付きます。

② 必ず付属品のピンを使用してください(他のものは使用しないでください)。**付属のピンは本機の底面にはめ込んであります。**
付属品のピンを強制イジェクトホールに**根元まで**押し込むと、ディスクがディスク挿入口より5 mm～10 mmほど出てきますので、指でつまんで引き抜いてください。

DJ用CDプレーヤーとしての基本操作編

オートキュー機能

ディスクをセットした時とトラックサーチおよび曲のチェンジの時に、実際に音声が始まる直前でキューポイントの設定(P. 18)を自動的に行う機能です。

● **オン／オフするには**

AUTO CUEボタンを押し続けるとオートキュー機能がオンします。表示部のオートキューインジケーター(A.CUE)が点灯するとオンです。AUTO CUEボタンをもう一度押し続けるとオフします。

- 電源をオフしてもオートキューのオン／オフ状態は記憶されます。
- オートキューレベルを可変することができます。

■ オートキューレベルの可変

1. TEXT MODE/UTILITY MODEボタンを1秒以上押し続ける。

   ユーティリティ設定モードとなります。ロータリーツマミを回転させ表示部を「A.CUE LEVEL 」とし押して決定します。表示部に「−60dB」(初期状態の場合)と表示されます。

2. **ロータリーツマミを回転させて値を変更する。**

   −36 dB、−42 dB、−48 dB、−54 dB、−60 dB、−66 dB、−72 dB、−78 dBから選べます。

3. **ロータリーツマミを押して決定する。**

   15秒間放置するとユーティリティ設定モードは解除されます。
   またBACKボタンを押すと戻ります。

再生を始めるには

1. プレーヤーにディスクを入れる。
   - ディスクはレーベル面を上にして、前面のディスク挿入口に1枚だけ挿入してください。(☞P.14)
   - ファーストセッションにMP3ファイルがないCD-ROMを挿入すると「NO TRACK」と表示し、再生されません。
   - ＵＳＢ端子にＵＳＢメモリーなどを接続しているときは、SOURCE SELECTボタンを押して、ディスク(CD)を再生するかUSBメモリー内のファイルを再生するかを選びます。
2. **オートキュー機能オン時は、PLAY/PAUSEボタン(►/ıı)を押す。**
   - 表示部の時間表示が点灯してから押してください。表示したトラックの無音部分を飛ばして、瞬時に再生を始めます。
     1曲の再生を終了すると、次の再生曲の頭出しをします。CUEボタンのインジケーターが点灯し、PLAY/PAUSEボタン(►/ıı)のインジケーターが点滅して、再生待機状態になります。PLAY/PAUSEボタン(►/ıı)を押すと次曲の再生がスタートします。

   オートキュー機能オフ時は、一曲目から再生が自動的に始まります。
   - オートキュー機能がオフの場合、1曲目を終わっても停止せずに、順番に再生を続けます。

レジューム機能について

イジェクト後に再度同じディスクをプレーヤーに挿入すると、そのディスクをイジェクトした直前の状態になります。ただし、デジタルジョグブレイク、スクラッチジョグエフェクトは復帰しません。再生を開始する前にTRACK SEARCHボタンを押すと、通常どおりトラックサーチをしたあと再生します。

再生を終了するには

1. EJECTボタンを押す。
   - 再生を終了し、ディスクが出てきます。
   - 本機にはストップボタンはありません。
   - 誤ってEJECTボタンを押してしまった場合、すぐに(「EJECT」が表示される前までに)PLAY/PAUSEボタンを押すと、EJECTボタンを押す直前の状態に復帰します(この間、音声出力は停止します)。

再生を一時停止するには

再生中にPLAY/PAUSEボタン(►/ıı)を押す。

- PLAY/PAUSEボタンのインジケーター(►/ıı)とキューインジケーター(CUE)が点滅し、再生を中断します。
- もう1度PLAY/PAUSEボタンを押すと、ボタンのインジケーターが点灯し、再生を再開します。
- CDJモードでは、ポーズモード中も再生音がとぎれとぎれに出力されます。音を出したくない時はオーディオミキサーの出力レベルを下げてください。
- ポーズ状態で100分間以上操作しないと、自動的にディスクの回転が停止します。このときPLAY/PAUSEボタンを押せば再生を再開します。
- 「END」表示のままで100分間以上操作しないと、再生状態でも停止します。

ジョグダイヤルの機能

[ピッチベンド]

再生中に回す。

(ジョグモード(CDJ/VINYL)がVINYLの場合は、ジョグダイヤルの外周斜面を操作してください。天面を押すと別の動作になります。)

- 回転させた分、加速(FWD+)・減速(REV−)します。リバース再生モードでは、加速(REV−)・減速(FWD+)になります。
- 回転を止めると、回転前のスピードに戻ります。

[スクラッチプレイ]

再生中に回す。

応用操作編の「**スクラッチプレイをするには**」をご覧ください。

[フレームサーチ]

ポーズ時に回す。

ジョグモード(CDJ/VINYL)がCDJの場合は、音出しポーズになります。ジョグモード(CDJ/VINYL)がVINYLの場合は音無しポーズになり、ジョグダイヤルの回転スピードに応じたスピードで音声を再生します。)

- 1フレーム単位でポーズ位置が移動します。
- ジョグダイヤルを1回転すると1.8秒分(135フレーム)の音声が再生されます。

[キューポイント修正]

☞P.18「キューポイントの修正」

[スーパー・ファースト・サーチ]

☞P.16「スーパー・ファースト・サーチ」

[スーパー・ファースト・トラックサーチ]

☞P.16「スーパー・ファースト・トラックサーチ」

[デジタルジョグブレイク]

☞P.17「デジタルジョグブレイク」

[スクラッチジョグエフェクト]

☞P.17「スクラッチジョグエフェクト」

早送り／早戻しをするには

■ **サーチボタン(◀◀、▶▶)による操作**

再生中にSEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。

▶▶ボタンを押している間、早送りします。
◀◀ボタンを押している間、早戻しします。

- MP3の場合、同一フォルダ内のみで早送り・早戻しできます。

■ **スーパー・ファースト・サーチ**

SEARCHボタン(◀◀、▶▶)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

- ボタンを押しながらサーチしたい方向にジョグダイヤルを回すと、高速早送りまたは高速早戻し動作をするモードに入ります。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。SEARCHボタンの方向は無視されます。
- ジョグダイヤルを回すのを止めると、再生状態になります。
- SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。
- MP3の場合、同一フォルダ内のみで早送り・早戻しできます。

スキップするには

■ **トラックサーチボタン(⏮、⏭)による操作**

TRACK SEARCHボタン(⏮、⏭)を押す。

- 1回押すたびに、指定方向の曲にスキップします(再生中に前の曲にスキップするには、続けて2回⏮を押してください)。MP3のときは、指定された方向で最初に見つかったトラックにスキップし、同一フォルダ内のみがスキップの対象になります。
- オートキューがオンのときは、スキップ後に曲の頭でキュースタンバイ状態になります。
- TRACK SEARCHボタンを押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が早くなります。
- 最初の曲(トラックNo. 1)の始めで続けて2回⏮を押すと最終曲にスキップします。MP3のときは、一番若い番号のトラックからバックすると、同一フォルダ内の最終トラックへスキップします。
- 最終曲から⏭を押すと最初の曲(トラックNo.1)にスキップします。MP3のときは、最終トラックから進めると、同一フォルダ内の一番若い番号のトラックへスキップします。

■ **スーパー・ファースト・トラックサーチ**

TRACK SEARCHボタン(⏮、⏭)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

- ボタンを押しながらスキップしたい方向にジョグダイヤルを回すと、ジョグダイヤルによってトラック番号を指定方向へ送ります。
- スキップ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。TRACK SEARCHボタンの方向は無視されます。
- TRACK SEARCHボタンを放すと、このモードは解除されます。

ロータリーサーチするには

1. ロータリーツマミ(SELECT PUSH⏮、⏭)を回す。

- 1目盛回すたびにフォルダ/トラックが指定方向に送られます。ルートディレクトリでは、フォルダ名「ROOT」が表示されます。
- テキストモードを選択しているときは、ロータリーサーチ後フォルダ名を表示し、その後フォルダ先頭のトラック番号とファイル名の表示に変わります。
- 再生中にロータリーツマミを回すと、再生しながら選曲できます。ディスクやUSBメモリーなどを挿入する前にロータリーツマミを回してトラック番号を指定することもできます。

2. ロータリーツマミ(SELECT PUSH⏮、⏭)を押す。

- 選択されているトラックの再生がはじまります。フォルダが選択されているときは、そのフォルダの階層へ入ります。BACKボタンを押すと1つ上のフォルダ階層へ戻ります。

再生スピードを変えるには

テンポ調整ツマミを前後にスライドする。

手前(＋)に動かすと再生が速くなり、奥(－)に動かすと再生が遅くなります。センタークリックが標準スピードです。

- 再生スピード(テンポ)の変化率が表示部に表示されます。
- 再生スピードを変えても音程を変えないで保つことができます。(☞次項「マスターテンポをかける」)。

■ テンポ調整範囲の選択

TEMPO ±6/±10/±16/WIDEボタンを押す。

押す度にテンポ調整ツマミの可変範囲(±6 %/±10 %/±16 %/WIDE)が切り換わります。±6 %では0.02 %単位、±10 %では0.05 %単位、±16 %では0.05 %単位、WIDEでは0.5 %単位で調整できます。

MP3のときは可変範囲は±6%/±10%/±16%です。

- 可変範囲の設定値は表示部に表示されます。
- 電源をオフしてもテンポレンジは記憶されます。

マスターテンポをかける

再生中にMASTER TEMPOボタンを押す。

MASTER TEMPOボタンと表示部の“MT”が点灯し、テンポ調整つまみでスピード(テンポ)を変えても、音程(キー、ピッチ)は変わりません。

- 音声をデジタル加工するため、音質が悪くなります。
- 電源をオフしても設定は記憶されます。

スクラッチジョグエフェクト

VINYLモード時、再生中にSCRATCH JOG EFFECTボタン(BUBLE、TRANS、WAH)の1つを押す。

- スクラッチしている間だけ効果が得られます。

BUBBLEについて

バブルスクラッチ奏法をシミュレーションした「ブルブル」という効果音を出します。

TRANSについて

ミキサーのクロスフェーダーで音を一定期間ミュートしているような効果を出します。

WAHについて

ギターなどに使用されるペダルワウのような効果を出します。

デジタルジョグブレイク

CDJモード時、再生中にDIGITAL JOG BREAKボタン(JET、ROLL、WAH)の1つを押す。

- 表示部に選択されたエフェクトが表示され、ジョグダイヤルの回転に応じて、それぞれの効果が変化します。

JETについて

ジョグダイヤルの回転に従いディレイタイムを変化させて再生音にショートディレイをミックスし、相互の音の間に干渉を起こさせて「シュワー」という感じの効果音を出します。

- ディレイ時間はジョグの回転に応じて、静止時の0 msから最大3 msまで変化します。
- ジョグダイヤルから手を離すと、元の原音だけの状態に徐々に戻っていきます。
- ディスクを取り出すと設定は解除されます。

ROLLについて

ジョグダイヤルの回転に従いピッチと再生時間を変化させて再生音に効果を出します。

- ジョグにタッチした時点の音を、連続してLOOP再生し、ロールします。
- ジョグダイヤルから手を離すと、元の原音の状態に徐々に戻っていきます。
- ディスクを取り出すと設定は解除されます。
- リバース再生中はロールできません。

WAHについて

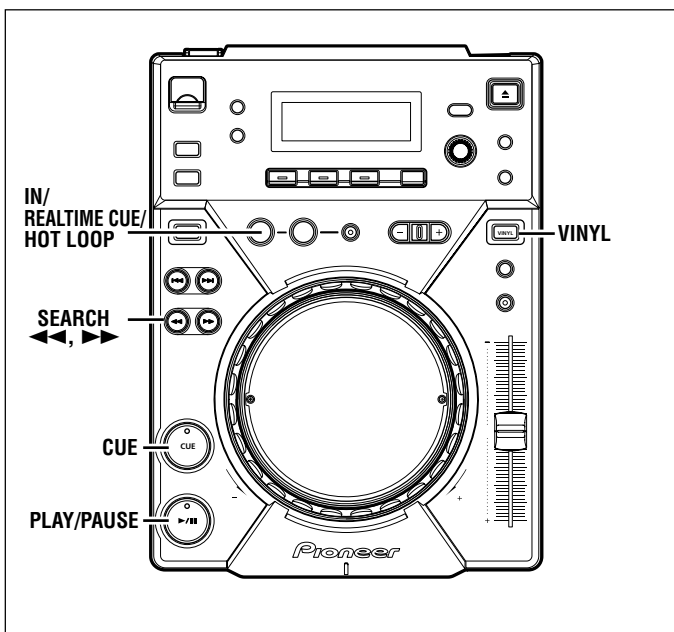
ジョグダイヤルの回転に応じてカットオフ周波数が変化するフィルターをかけます。

- 時計回りではハイパスフィルター、反時計回りではローパスフィルターになります。
- ジョグダイヤルから手を離すと、元の原音の状態に徐々に戻っていきます。
- ディスクを取り出すと設定は解除されます。

[HOLD機能]

ジョグダイヤルの回転で得られた効果を、ジョグダイヤルの回転を止めても維持する機能です。

デジタルジョグブレイク/スクラッチジョグエフェクト機能を使用中にHOLDボタンを押す。

- ジョグダイヤルから手を離してもその時点のエフェクトを維持します。
- ホールド機能がオンしているときは、エフェクトを切り換えてもホールドをオフにしない限り、切り換える前の設定を記憶しています。

キューポイントの設定

キューポイントをメモリーしておくと、再生中にCUEボタンを押してキューポイントで再生待機状態にすることができます。

■ CDJモードでのキュー設定

1. 再生中、頭出ししたいポイントで、PLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押して一時停止状態にする。
2. キューポイントの正確な位置を探す。
   - ● フレームナンバーでキューポイントを決める。
     1フレーム単位(75フレーム＝1秒)で頭出しの位置が設定できます。
     ジョグダイヤルまたはSEARCHボタン(◀◀、▶▶)を操作してフレームを送ります。ジョグダイヤル1回転で135フレーム、サーチボタンを押すと1フレーム、指定方向にフレームを送ります。MP3のときは同一フォルダ内のみフレームを送ることができます。
   - ● 音声を聞いてキューポイントを決める。
     ジョグダイヤルをゆっくり回して、再生を開始したい音声の直前まで戻します(音出しポーズ時に聞こえている音の直後がキューポイントになります)。
3. フレームナンバー、または音声が目的の頭出しポイントになったら、CUEボタンを押す。
   - 音声がミュートされ、表示部の時間表示が点灯したらキューポイントメモリーは完了です。
   - 新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントはクリアーされます。

【キューポイントの修正】

1. 再生中、CUEボタンを押す。
   - 設定してある頭出しポイントに戻ります。
2. サーチボタン(◀◀、▶▶)を押して音出しポーズ状態にする。
3. 上記の「キューポイントの設定」の手順2、手順3を行う。

■ VINYLモードでのキュー設定

■ リアルタイムキュー

再生中、頭出ししたいポイントでIN/REALTIME CUE/HOT LOOPボタンを押す。

- このポイントが新たなキューポイントとして記憶されます。

■ バックキュー(キューポイントに戻る)

1. 再生中、CUEボタンを押す。
- 設定したキューポイントに戻ります。
- MP3のときは、同一フォルダ内でのバックキューが可能です。キューポイントは、新しいキューポイントを入力(上書き)しないかぎり、フォルダサーチ後も記憶しています。

2. PLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押す。
- キューポイントから瞬時に再生します。

■ キューポイントサンプラー(キューポイントを確認する)

キューポイントを設定後、キュースタンバイ状態でCUEボタンを押す。

- CUEボタンを押している間、頭出しした音を聞くことができます。
- MP3のときは、同一フォルダ内でのみ頭出しした音を聞くことができます。

違う曲どうしをミックスする(つなぎ)

(例)　現在スピーカーから音が出ている曲Aに対し、次にかける曲Bをミックスする。

- CD1をDJミキサーのCH1へ、CD2をCH2へ接続します。
- トリム、CHフェーダー、マスターボリュームを適当な位置まで上げ、CD1の音が出るようにします。

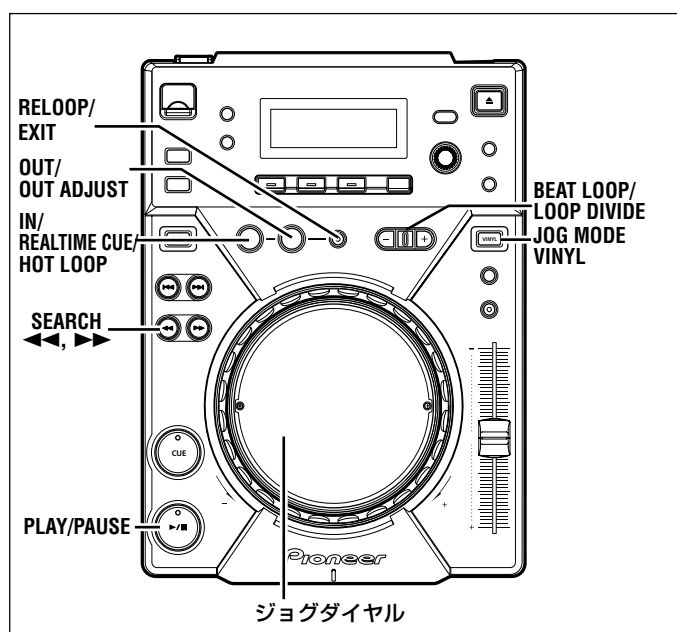
1. DJミキサーのCROSS FADERツマミを左側(CH1側)にしておく。
   - 曲Aがスピーカーから出ています。
2. プレーヤーCD2にCDをセットする。
3. プレーヤーCD2のTRACK SEARCHボタン(I◀◀、▶▶I)を押して曲Bを選ぶ。
4. DJミキサーのMONITOR SELECTORボタンを操作してCH2をモニターする。
5. DJミキサーのMONITOR LEVELつまみを回し、ヘッドホンに曲Bの音を出す。
   - スピーカーからは曲Aだけの音が出ています。
6. ヘッドホンの音で曲Bの頭出しをする。
   ① プレーヤーCD2の再生状態で、頭出しをする付近でPLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押す。
   ● ポーズ状態になります。
   ② プレーヤーCD2のジョグダイヤルを回して、曲の頭出しポイント(一拍目)を探す。
   ③ 頭出しポイントが決まったら、プレーヤーCD2のCUEボタンを押す。
   ● 無音になり、頭出しを完了します。
7. スピーカーからの曲Aに合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押す。
   - スピーカーからは曲Aだけの音がでています。
   - ヘッドホンからは曲Bの音が出ます。
8. プレーヤーのTEMPOツマミを動かして曲Aと曲Bの速さ(BPM=Beat Per Minutes)を合わせる。
   曲AのBPMの数字に、曲BのBPMの数字が同じになるようにプレーヤーCD2のTEMPOツマミを動かす。
   ● BPMの数字が同じになれば、BPM合わせは完了です。
9. プレーヤーCD2のCUEボタンを押す。
   - プレーヤーCD2はキューポイントでポーズ状態になります。
10. プレーヤーCD1の曲A(スピーカーの音)に合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押す。
    - 曲Bがスタートします。
11. ヘッドホンで確認しながら、DJミキサーのCROSS FADERツマミを徐々に右側に動かす。
    - スピーカーからの曲Aの音に曲Bの音がミックスして出ます。
    - DJミキサーのCROSS FADERツマミが完全に右側へいったとき、曲Aから曲Bへつなぎは完了です。

■ ロングミックスプレイ

BPMさえ合っていれば、CROSS FADERツマミが中間にあっても、曲Aと曲Bはきれいにミックスされます。

■ フェーダースタートプレイ

パイオニアのDJミキサーのクロスフェーダースタートを使えば、手順10を省略でき、より簡単にミックスできます。
さらに、CROSS FADERツマミを戻すと、手順9の状態に戻るので、繰り返し音を出すことができます。

応用操作編

ループ再生をするには

■ ループを作るには

1. PLAY/PAUSEボタン(▶/⏸)を押して再生する。
2. 再生中に、ループインポイントでIN/REALTIME CUE/HOT LOOPボタンを押す。
   - あらかじめ記録してあるキューポイントをループの先頭にする場合は、この操作は不要です。
3. 再生中、ループアウトポイントでOUT/OUT ADJUSTボタンを押す。
   - インポイントからアウトポイント間でループ再生を開始します。
   - フレームサーチを使えば、フレーム単位でループアウトポイントを設定できます。
   - MP3の場合はキューポイントが設定された同一トラックのみでループが可能です。

■ ループアウトポイントを自動設定してループ再生するには(オートビートループ)

再生中(ポーズ中)にBEAT LOOP/LOOP DIVIDEボタンを押す。

- 押した時点をループインポイントとし、曲のBPMにしたがって自動的にループアウトポイントを設定し、ループ再生を開始します。
- BPM数値が表示されていない場合は、BPM=130としてLOOP再生を開始します。

■ ループを分割するには(ループディバイド)

ループ再生中にBEAT LOOP/LOOP DIVIDEボタンを押す。

- －ボタンを押すたびにループが分割され、＋ボタンを押すたびに元のループに戻ります。

■ ループ再生中にループインポイントに戻って再度ループ再生するには(ホットループ)

ループ再生中にIN/REALTIME CUE/HOT LOOPボタンを押す。

- ループインポイントに戻って再度ループ再生を開始します。

■ ループを抜け出す(解除する)には

ループ再生中にRELOOP/EXITボタンを押す。

- ループアウトポイントになってもインポイントに戻らずに再生を継続します。

■ ループアウトポイントを変えるには

1. ループ再生中に、OUT/OUT ADJUSTボタンを押す。
   - 表示部にアウトポイントの時間が表示され、OUT/OUT ADJUSTボタンは速い点滅に、IN/REALTIME CUE/HOT LOOPボタンは消灯に変わります。
2. SEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す、またはジョグダイヤルを回す。
   - 1フレーム単位でループアウトポイントが移動します。
   - ループアウトポイントはループインポイントの前には移動できません。
   - MP3の場合はキューポイントが設定された同一トラックのみでループ修正が可能です。
   - OUT/OUT ADJUSTボタンを押すか、約30秒間放置すると修正モードを抜けループ再生に戻ります。

■ 再度ループに戻るには(リ・ループ)

ループ解除後、再生中にRELOOP/EXITボタンを押す。

- 前に設定したループインポイントに戻り、ループ再生を再開します。ループディバイドでループを分割している場合でも、最初に設定した長さに戻ります。
- MP3の場合は同一フォルダのみでリ・ループが可能です。

フェーダースタートプレイについて

本機のコントロール端子(CONTROL)とパイオニアのDJミキサーのコントロール端子(CONTROL) を付属のコントロールコードで接続することにより、DJミキサーのチャンネルフェーダーを上げるとプレーヤーのCUEスタンバイが解除して瞬時に曲がスタートします。クロスフェーダーの操作でもプレーヤーのフェーダースタートができます。また、フェーダーの位置を元に戻すとプレーヤーをキューポイントまで戻す(バックキューする)ことができます。(接続方法は9ページを参照してください。)

スクラッチプレイをするには

ジョグモードをVINYLにすると、ジョグダイヤルの天面を押して回すことにより、ジョグの回転速度と回転方向に応じた再生ができます。

1. JOG MODE VINYLボタンを押し、ボタンを点灯させる。
2. 再生中にジョグダイヤルの天面を押す。
   - 再生が停止し、手順3のジョグダイヤルの回転に応じた再生になります。
3. ジョグダイヤルを再生したい方向と速さで回す。
   - ジョグダイヤルの回転スピードと回転方向に応じたスピードと方向で再生されます。
4. ジョグダイヤルの天面から手を離す。
   - 元の再生状態に戻ります。

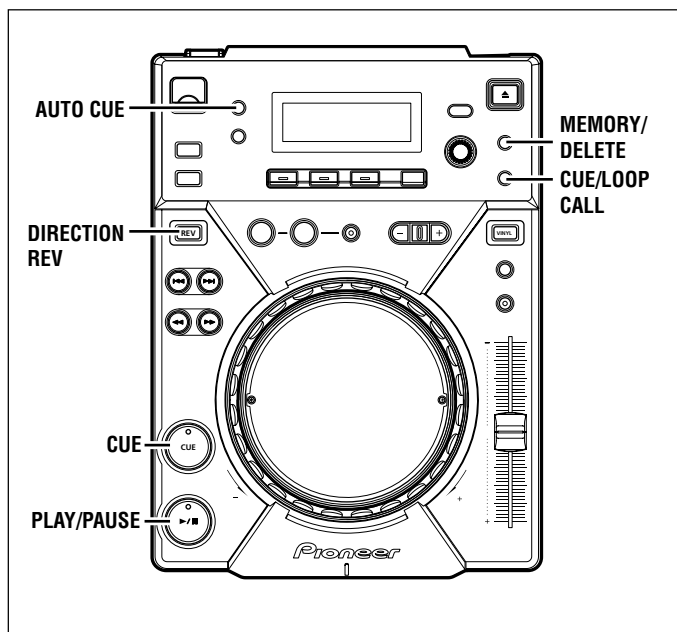
スピンをするには

VINYLモードでプレイ中に、ジョグダイヤルの天面を押すか、PLAY/PAUSEボタン(▶/⏸)を押してポーズにしたあと、ジョグダイヤルを早く回すと、ジョグダイヤルから手を離しても回転に応じたスピードと方向で再生されます。

リバース再生をするには

DIRECTION REVボタンを押し、ボタンを点灯させる。

逆方向に再生します。

- ジョグダイヤルの回転による再生の加・減速が逆向きになります。
- リバース再生中は、リ・ループはできません。
- 15秒以上のループはシームレスなリバース再生できません。
- トラックサーチ、ループなどを行うと、スクラッチ／リバースの操作が行えないことがあります。
- MP3の場合は、フォルダーをまたいでのリバース再生は行えません。
- MP3の場合、再生する曲によってはリバース再生がすぐに始まらない場合があります。(表示部に「Searching」と表示し、再生前に演奏時間情報を読み込む場合があります。)

キューポイント／ループポイントメモリー

本機は、キューポイントやループポイントを、メモリーに記憶できます。メモリーには、1曲あたり１ポイントのキュー/ループポイントが記憶できます。

■ キューポイントを記憶する

1. オートキュー機能またはCUEボタンでキューポイントを入力する。
2. CUE/LOOP MEMORYボタンを押す。
   - 「MEMORY」インジケーターが点灯し、キューポイントが記憶されます。

■ ループポイントを記憶する

1. ループインポイント／ループアウトポイントを入力してループ再生する。
2. ループ再生中にCUE/LOOP MEMORYボタンを押す。
   - 「MEMORY」インジケーターが点灯し、ループイン／ループアウトポイントが記憶されます。

■ 記憶したキュー／ループポイントを呼び出す

キュー/ループポイントが記憶されていると、「MEMORY」インジケーターが点灯します。

1. CUE/LOOP CALLボタンを押す。
   - CALLボタンを押すと、キュー/ループポイントが呼び出され、キュー/ループインポイントで待機します。
2. PLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押す。
   - 再生／ループ再生を開始します。

■ キュー／ループポイントの記憶を消去する

1. CUE/LOOP CALLボタンを押す。
   - CALLボタンを押すと、キュー/ループポイントが呼び出され、キュー/ループインポイントで待機します。
2. 消去したいキュー／ループポイントでMEMORY/DELETEボタンを1秒以上押し続ける。
   - 表示部に「DELETE」と表示されて、指定したキューポイントまたはループポイント情報が消去されます。

2台のプレーヤーを使ったリレープレイ

本機および他のCDJシリーズのCDプレーヤーのコントロール端子どうしを付属のコントロールコードで接続するとリレープレイが可能になります。☞ P. 9

- ２台のプレーヤーのオートキュー機能はオンにします（表示部のA.CUEインジケーターが点灯）。
- DJミキサーのクロスフェーダーツマミはセンター位置にしてください。

1. 先に再生するプレーヤーの再生を開始する。
2. 再生中の曲が終了すると、待機中のプレーヤーが自動的に再生を開始する。
3. 始めに再生していたプレーヤーは次の曲の始めの位置でCUEスタンバイ状態になる。
   - この繰り返しにより、自動的に2台のプレーヤーでの交互再生ができます。
   - 待機中のプレーヤーのディスクを交換して選曲すれば、聞きたい曲を次々と再生することができます。
   - 待機中のプレーヤーでキューポイントを設定しておくと、希望の曲の希望のポイントにリレーすることができます。
     ☞ P. 18「キューポイントの設定」参照

ご注意

- **2台のプレーヤーの音声出力端子を、同じDJミキサーに接続していない場合には、うまくリレープレイできないことがあります。**
- **再生中のプレーヤーの電源が切れた場合には、もう一方のプレーヤーが演奏をはじめることがあります。**
- **フェーダースタートとリレープレイはコントロールコードの接続が異なるため、同時に行うことはできません。**

データの書き出しと読み込み

プレーヤーの記憶データ（キューポイントやループ）をUSBメモリーを使用して別のプレーヤーにコピーすることができます。

■USBメモリーへのデータ書き出し方法

1. USBメモリーおよびディスクを入れていない状態でLOOP OUT(OUT ADJUST)ボタンを5秒以上押し続ける。
   LOOP OUT(OUT ADJUST)ボタンのみ点灯し、表示部に「WRITE　MODE」と表示されます。
2. USBメモリーを挿入し、USBメモリー表示が点灯したら、PLAY/PAUSEボタンを押す。

プレイングアドレス部分が点灯して行き、USBメモリーへ書き出し開始します。書き出しが終了すると、表示部に「END」と表示され、通常の動作モードに戻ります。

- 表示部に「ERROR」と表示される場合は、データの書き出しが正しく完了していません。
  電源を入れ直して、再度手順1からやり直してください。
- USBメモリー内のデータは上書きされますので、以前に記憶していたデータは完全に消去されます。

■USBメモリーからデータの読み込み方法

1. USBメモリーおよびディスクを入れていない状態でLOOP IN/REALTIME CUEボタンを5秒以上押し続ける。
   LOOP IN/REALTIME CUEボタンのみ点灯し、表示部に「READ MODE」と表示されます。
2. USBメモリーを挿入し、USBメモリー表示が点灯したら、PLAY/PAUSEボタンを押す。
   プレイングアドレス部分が点灯して行きUSBメモリーから読み込み開始します。
   読み込みが終了すると、表示部に「END」と表示され、通常の動作モードに戻ります。
   - 表示部に「ERROR」と表示される場合は、データの読み込みが正しく完了していません。
     電源を入れ直して、再度手順1からやり直してください。

※ CDJ-400内のデータは上書きされますので、以前に記憶していたデータは完全に消去されます。

MIDIセッティング

MIDI (ミディ: Musical Instrument Digital Interface)とは、電子楽器やコンピューターの間で情報のやり取りを行うための統一規格です。
CDJ-400では、SOURCE SELECTボタンでPCを選択することによりUSB MIDIに対応したアプリケーションに機器の操作情報を送ることができます。

MIDIチャンネルの設定

MIDIチャンネル(1～16)を設定でき、また記憶します。

1. TEXT MODE/UTILITY MODEボタンを1秒以上押し続けるとユーティリティ設定モードとなります。

ロータリーツマミを回転させ表示部を「MIDI　CH　」とし押して決定します。
表示部に「CH　1」(初期状態の場合)と表示されます。

2. ロータリーツマミを回転させ値を変更する。

CH　1 ～ CH 16 から選べます。

3.ロータリーツマミを押して決定します。

15秒間放置するとユーティリティ設定モードは解除されます。またBACKボタンを押すと戻ります。

SW名	SWの種類	MIDIメッセージ			備考
JOG (TOUCH)	General Purpose Controller	Bn	10	dd	停止から４倍速の速度に対するリニア値で、停止で64、FWD(CW)方向：65(0.06倍速)～127(4倍速)・REV(CCW)方向：63(0.06倍速)～0(4倍速)。
TEMPO SLIDER	VR	Bn	1D	dd	0-127　　　-側で0、+側で127、センターで64
JOG RING	General Purpose Controller	Bn	30	dd	0.5倍速から４倍速の速度に対するリニア値で、停止(0.49倍速以下)で64、FWD(CW)方向：65(0.5倍速)～127(4倍速)・REV(CCW)方向：63(0.5倍速)～0(4倍速)。
ENCODER	General Purpose Controller	Bn	4F	dd	前回からの差分のカウント値を転送 差分無しで64、CW方向で64+変化量(最大127)、CCW方向で64-変化量(最小0)とする
PLAY/PAUSE	SW	9n	00	dd	OFF=0,ON=127
CUE	SW	9n	01	dd	OFF=0,ON=127
SEARCH FWD	SW	9n	02	dd	OFF=0,ON=127
SEARCH REV	SW	9n	03	dd	OFF=0,ON=127
TRACK SEARCH Next	SW	9n	04	dd	OFF=0,ON=127
TRACK SEARCH Prev	SW	9n	05	dd	OFF=0,ON=127
LOOP IN	SW	9n	06	dd	OFF=0,ON=127
LOOP OUT	SW	9n	07	dd	OFF=0,ON=127
RELOOP	SW	9n	08	dd	OFF=0,ON=127
MEMORY	SW	9n	0A	dd	OFF=0,ON=127
CALL	SW	9n	0B	dd	OFF=0,ON=127
TIME/A.CUE	SW	9n	0E	dd	OFF=0,ON=127
TEXT	SW	9n	0F	dd	OFF=0,ON=127
TEMPO RANGE	SW	9n	10	dd	OFF=0,ON=127
MT	SW	9n	11	dd	OFF=0,ON=127
JOG MODE (VINYL)	SW	9n	12	dd	OFF=0,ON=127
LOOP DEVIDE +	SW	9n	16	dd	OFF=0,ON=127
LOOP DEVIDE -	SW	9n	17	dd	OFF=0,ON=127
JOG TOUCH	SW	9n	20	dd	OFF=0,ON=127
REVERSE	SW	9n	21	dd	OFF=0,ON=127
HOLD	SW	9n	22	dd	OFF=0,ON=127
WAH	SW	9n	23	dd	OFF=0,ON=127
TRANS/ROLL	SW	9n	24	dd	OFF=0,ON=127
BUBBLE/JET	SW	9n	25	dd	OFF=0,ON=127
EJECT	SW	9n	2F	dd	OFF=0,ON=127
BACK	SW	9n	32	dd	OFF=0,ON=127
ENCODER PUSH	SW	9n	33	dd	OFF=0,ON=127

故障かな？と思ったら

故障かな？…と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障と思われています。また、本機以外の原因も考えられます。同時に使用している電気機器もあわせてお調べください。
下の項目をチェックしても直らない場合は、お買上げの販売店またはパイオニア修理受付センター(裏表紙参照)へご連絡ください。

症　状	考えられる原因	処　置
EJECTボタンを押してもディスクが取り出せない。	● 電源コードがつながっていない。	● 電源コンセントへつなぐ。
ディスクを入れても再生が始まらない。	● オートキュー機能がオンになっている。	● AUTO CUEボタンを押して、オートキュー機能をオフにする。
再生をはじめてもすぐに停止してしまう。	● ディスクのくもりなど。	● ディスクのくもりをふき取る。
MP3を再生できない。	● フォーマットが合わない。	● P.6「MP3再生について」をご覧ください。
MP3でサーチできない。	● MP3で別のフォルダ内へサーチ(早送り／早戻し)しようとした。	● MP3でのトラックサーチは同一フォルダ内のみで可能です。
音が出ない。	● 出力コードが正しく接続されていない、またははずれている。 ● DJミキサーを正しく操作していない。 ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● プレーヤーがポーズモードになっている。	● 正しく接続する。(9,10ページ参照) ● DJミキサーのスイッチ類と音量調整を確認する。 ● 汚れをふき取って接続する。 ● PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押して、演奏する。
音が歪む、雑音が出る。	● 出力コードが正しく接続されていない。 ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● テレビからの影響を受けている。	● DJミキサーのライン入力端子へ接続する。マイク端子へは接続しないでください。 ● 汚れをふき取って接続する。 ● テレビの電源を切る。または本機を離す。
特定のディスクで大きなノイズが出る。再生が中断してしまう。	● ディスクに大きなキズやそりがある。 ● ディスクが極端に汚れている。	● ディスクを交換する。 ● ディスクの汚れをふき取る。
オートキュー機能をオンにしていて、トラックサーチが終了しない。	● 曲間の無音部分が長い場合にはトラックサーチも長くかかる場合がある。 ● 10秒以内にサーチできない場合、トラックの頭がキューポイントに設定される。	● AUTO CUEボタンを押して、オートキュー機能をオフにする。
再生中にCUEボタンを押しても、バックキュー機能が働かない。	● キューポイントを設定していない。 ● MP3で別のフォルダ内にキューポイントがある。	● キューポイントを設定する。(18ページ参照) ● MP3でのバックキューは同一フォルダ内のみで可能です。
LOOP OUTボタンを押してもループプレイにならない。	● キューポイント(ループインポイント)を設定していない。 ● MP3の場合、再生中のトラック内にループインポイントがないとループ再生できない。	● キューポイントを設定する。(18ページ参照) ● MP3ではキューポイント(ループインポイント)が設定してあるトラック内でのみループ再生が可能です。
ジョグダイヤルが希望の機能と違う動作をする。	● ジョグモード(**VINYL/CDJ**)が違う。	● **JOG MODE**ボタンを押して、希望の機能のジョグモード(**VINYL/CDJ**)を選ぶ。
テレビの画面が乱れる、FM放送に雑音が入る。	● 本機が影響している。	● 本機の電源を切るか、テレビから離す。
電源ONの状態でディスクが停止している。	● ポーズ状態で100分間以上操作しないと自動的にディスクの回転を停止します。	● PLAY/PAUSEボタン(►/II)を押すと1曲目から演奏を開始します。また、EJECTボタンを押すとディスクが出てきます。

- 静電気等、外部からの影響により、本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源スイッチを一度オフにし、ディスクが完全に停止してから再度オンすることにより正常に動作します。
- 本機はCD-RおよびCD-RWディスクの未ファイナライズディスク（パーシャリーディスク）の再生はできません。
- 本機で異形ディスクの再生はできません。（故障・事故の原因になることがあります。）一般の12 cmディスクをお使いください。
- 本機で測定したBPM値が、CDの記載値や当社のDJミキサー等と異なる場合がありますが、これはBPMの測定方法などが違うためであり故障ではありません。
- CD-R/-RWディスクの場合、記録品質によりパフォーマンスが低下することがあります。

エラー表示

正常に動作できない場合には、表示部にエラーコードを表示します。下に示す表で確認して処置をしてください。下表にないエラーコードが出た時や、処置をしても同じエラーコードが出る場合には、お買い上げの販売店またはパイオニア修理受付センター（裏表紙参照）へご連絡ください。

<table>
<tr><th>エラーコード</th><th>エラータイプ</th><th>エラー内容</th><th>原因と処置</th></tr>
<tr><td>E－72 01</td><td>TOC READ ERROR</td><td>TOCデータが読み取れない。</td><td rowspan="2">ディスクにひび割れがある。
→ディスクを交換する。

ディスクが汚れている。
→ディスクをクリーニングする。
他のディスクで正常に動作する場合は
ディスクに原因があります。</td></tr>
<tr><td>E－83 01
E－83 02
E－83 03</td><td>PLAYER ERROR</td><td>正常に演奏できないディスクが装着されている。</td></tr>
<tr><td>E－83 04</td><td>MP3 DECODE ERROR</td><td rowspan="2">正常に演奏できないディスクが装着されている。</td><td rowspan="2">MP3フォーマットに従っていない。
→MP3フォーマットに従ったディスクに交換する。</td></tr>
<tr><td>E－83 05</td><td>DATA FORMAT ERROR</td></tr>
<tr><td>E－91 01</td><td>MECHANICAL TIME OUT</td><td>規定時間の内にメカ動作が終了しなかった。</td><td>ディスク挿入部に異物が入っている。
→異物を取りのぞく。</td></tr>
</table>

保証とアフターサービスについて

保証書（別に添付してあります。）について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめて取扱店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

● **保証期間について**
保証期間は、取扱説明書の注意にしたがった使用で、ご購入日より1年間です。

● **次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。**
本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

● **故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失（逸失利益）は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。**

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後8年間保有しています。

免責事項について

- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Apple、Mac OSは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ASIOはSteinberg Media Technologies GmbHの商標です。

修理を依頼されるとき

本書の「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

● **保証期間中は**
万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。お求めの販売店またはパイオニア修理受付センター（裏表紙参照）にご相談ください。保証書の規定にしたがって修理致します。

連絡していただきたい内容
- ご住所 ・ ご氏名 ・ 電話番号
- 製品名 ・ 型番 ・ ご購入日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標（建物、公園など）

● **保証期間が過ぎているときは**
お求めの販売店またはパイオニア修理受付センターにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。
営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておりません。
このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。
詳しくはhttp://www.mp3licensing.com をご参照ください。

Fraunhofer Institut
Integrierte Schaltungen

MPEG レイヤー 3 によるオーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson Multimedia によりライセンス供与されます。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
なお、修理を依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名　②ご購入日　③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

＜下記窓口へお問い合わせの時のご注意＞
市外局番「0120」で始まる フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

■ テクニカルサポートセンター（フリーダイヤル）
受付　月曜～金曜　10：00 ～ 18：00、土曜・日曜・祝日　10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00　（弊社休業日は除く）

▽ DJ機器のご相談窓口　電話（フリーダイヤル）　**0120-545-676**
ファックス　**03-3763-9503**

部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

■ 部品受注センター
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 18：00、土曜・日曜・祝日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイヤル）　**0120-5-81095**
一般電話　**0538-43-1161**
ファックス（フリーダイヤル）　**0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄県の方は、沖縄サービスステーションへ）

■ 修理受付センター（沖縄県を除く全国）
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 19：00、土曜・日曜・祝日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイヤル）　**0120-5-81028**（ゴー パイオニア）
一般電話　**03-5496-2023**
ファックス（フリーダイヤル）　**0120-5-81029**

■ 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

一般電話　**098-879-1910**
ファックス　**098-879-1352**

インターネットホームページのご案内

インターネットによる修理受付ができない場合は、修理受付センターへお問い合わせください。

■ パイオニアホームページ　***http://pioneer.jp/***

▽ お客様サポート　*http://pioneer.jp/support/*
商品についてよくあるお問い合わせ・カタログ請求・お客様登録など

▽ 修理の窓口　*http://pioneer.jp/support/repair.html*
問い合わせ先案内・修理受付 (家庭用オーディオ／ビジュアル商品対象)・進捗状況確認など

愛情点検

長年ご使用の製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか?
- ◆ 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ◆ 電源コードにさけめやひび割れがある。
- ◆ 電源が入ったり切れたりする。
- ◆ 本体から異常な音、熱、臭いがする。

⇩

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社修理受付センターに点検（有料）をご依頼ください。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒１丁目４番１号

<DRA1419-A>